



体指会報

Vol. 28

2007年1月31日

■発行／埼玉県体育指導委員協議会
〒362-0031 上尾市東町3-1679
■発行責任者／宮嶋武志
■編集／埼玉県体育指導委員協議会広報委員会
TEL 048-779-7537 FAX 048-779-7538

SAITAMA SPORTS TRAINERS ASSOCIATION

CONTENTS

全国体育指導委員研究協議会報告

わがまちの活動

研修会報告

受賞者紹介

体育指導委員功労者・20年勤続表彰



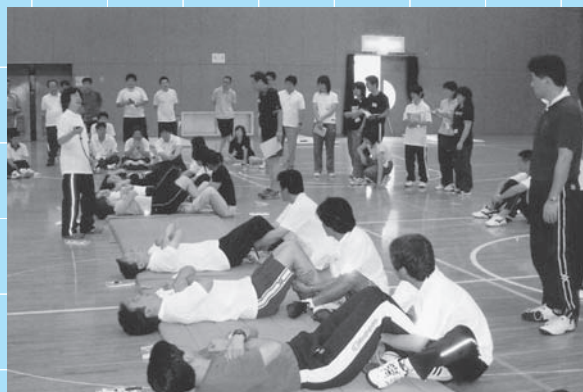
20年勤続
表彰式



第1回 埼玉県体育
指導委員研修会



第1回 オープン
セミナー



新任体育指導委員研修会



どあつわし

埼玉県体育指導委員協議会

会長 宮嶋 武志

体育指導委員の皆さん、日頃から地域スポーツの振興にご尽力、ご協力をいただき大変ご苦勞様でございます。

この度、平成十八年度より会長就任いたしました宮嶋です。

今、私たち体育指導委員を取巻く環境は昨年度から大きく変わってきております。「自主・自立」という命題に対し、昨年度前会長を中心として議論を重ね規約改正を行いました。検討委員会は、正副会長を中心とし各地区から推薦された十名の委員から構成され、規約改正について真剣に検討しました。規約改正案づくりには、埼玉県教育局市町村支援部スポーツ振興課のご指導もいただきまとめあげ、理事会、評議員会にかけ、承認を得てできたものです。

改正のポイントは従来の十地区をさいたま・東西南北の五支部とし従来の功労賞に加え二十年勤続表彰を新たに加えました。従来の地区協議会運営と事業についての継続は、地区協議会に任することになりました。会長就任後、

全国会長会議に出席したおりに情報交換し、各県の内情を聞きましたが県協議会に規約を有するのは埼玉県の他に例がなく胸の張れるものと再確認しました。

高齢社会、少子化、団塊の世代の大量離職等が問題として最近取り上げられています。こうした状況や社会の変化に対し、我々体育指導委員は、どう対応していくのかが問われていると私は、考えております。

児童数の減少、逆に増大する高齢者へのスポーツ指導として、総合型地域スポーツクラブの育成は有効であり、急務といえます。

地域の人口構成にあわせたスポーツ指導は、私たち体育指導委員の課題でもあります。各地域でこうした時代を反映する活動をお願いします。そしてすでに実施している市町村は、そうした実績について研修会等で発表していただき、埼玉県の体育指導委員全員に共有化させてください。今後ともよろしく願いいたします。



どあつわし

埼玉県教育局市町村支援部

スポーツ振興課長 廣川 貞夫

体育指導委員の皆様方には、日ごろ地域におけるスポーツ振興の推進役として、各種スポーツの普及や指導に熱心にお取り組みいただいていることに、深く敬意を表しますとともに、心から深く感謝申し上げます。

近年、県民のスポーツに対するニーズが多様化するとともに健康づくりへの関心も高まっており、身近な地域で誰もが生涯にわたってスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現が求められております。とりわけ、子どもが体力低下や超高齢化社会の進展にともなう現状や課題に対し、スポーツ活動を通じて子どもたちから高齢者まで幅広く多彩な身体活動を提供できる環境づくりは大変重要です。

本県としましても、本年四月に改訂した埼玉県スポーツ振興計画「彩の国スポーツプラン2010」において「生涯スポーツの振興と健康体力づくり」を推進分野の一つに掲げ、県民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興

味・関心に応じていつでも、どこでもいつまでも、主体的にスポーツに親しむことができるよう総合型地域スポーツクラブの育成・支援など、生涯スポーツの振興と健康体力づくりに取り組んでおります。しかし、総合型地域スポーツクラブの設立や学校及び社会体育施設の有効利用によるスポーツの場の確保など、生涯にわたりスポーツを親むことのできる環境づくりは、まだまだ多くの課題が残っております。

埼玉県体育指導委員協議会は、自主・自立の運営を目指し、今年度から、宮嶋新会長を中心に新たな執行部体制となりました。今後も課題の解決に向け、より一層のスポーツ・レクリエーションの推進に努められ、地域スポーツ振興に大きな成果をあげていただきますよう期待しております。

結びに、皆様方のご活躍に改めて感謝を申し上げますとともに、貴協議会の益々のご発展を祈念申し上げます。

全国体育指導委員研究協議会に参加して



北川辺町体育指導委員会 副委員長 関原 紀子

「全国体育指導委員研究協議会」に参加して

平成十八年十一月十六日・十七日の両日、第四十七回全国体育指導委員協議会は大分県の別府市を会場に開催された。

海・山・湯けむりの素晴らしい景観と、日本一の温泉を誇る別府の街は自然環境の豊かなそして海の幸・山の幸の味覚も楽しめる観光地。何と言っても各家庭で温泉に毎日入れるとは驚きでした。

私はこれまでに何回も関東・全国大会に参加させて頂いたが、この大分大会ほど「参加してよかった」と思えた事はなかった。

平成十九年二月二十五日に総合型地域スポーツクラブの設立総会を控えている北川辺町では、体育指導委員が主になって準備を進めているが、なかなか先が見えない部分もあり、体育指導委員としての役割を遂行すべく努力はしているものの、まだまだ教育委員会に依存しているところが大なのだ。

全体会の基調提案は全国体育指導委員連合の大木専務理事による「スポーツ環境の整備と体育指導委員の役割」というテーマで話が進められ、基調講

演は福島大学の白石先生がご自分の経験や研究されたことをお話された。

白石先生の巧みな話術でわかり易い内容は、私たちの睡気も吹き飛ばすほどで、

感激しました。参加出来なかった仲間にも聞いてほしいと思います、参加させて頂いた私は得をした気分になった。

テーマも「子どもたちのスポーツ環境を考える」外遊びを失った子どもたちに

スポーツができること」と題して、スポーツも指導している私たちが、こ

の子どもたちにどのように関わっていけばよいのかお話しされたのです。総

合型を立ち上げる際、運動をしていない

子どもたちにスポーツをする楽しさや仲間づくりの場

所を提供して健全育成に役立つ事を願った私には最高

のお話でした。



<全国体育指導委員研究協議会>

関東体育指導委員研究大会に参加して



所沢市体育指導委員会 関谷 健二

関東体育指導研究大会の受賞

平成十八年度関東体育指導研究大会が千葉県木更津市民体育館で、六月九・十日の二日間、一都八県一五六九名の参加で開催されました。

一日目の授賞式には、七十七名の対象者の一人として参加致しました。

自分の受賞など、まだ先の事と思っておりますが、突然の連絡に、驚きと歳月の速さを痛感させられました。

満席の会場の中での受賞は、久しぶりに身の引き締まる思いと感激を覚えました。

特別講演は「いきいきと生きる」のテーマで、ハマコーこと浜田幸一氏の講演でした。

最初から、会場のフロアに現れ、我々の目線で話し、問いただし、会話をし、会場いっぱい動き回り、講演というよりディスカッションの様な、爆笑の中での一時間三十分でした。

その中でも常に、人間関係が物事を成し遂げる事を感じ取りました。

地元でソフトボールや少年野球に携わっていた関係で、体育指導委員への誘いがあった時も、その情熱が体育指導活動へも応用できると思いい、引き受



<関東体育指導委員研究大会>

けたのが始まりです。引き受けたからには全力投球が私のモットーです。五年間は、常に体指の研究や体指の勉強に出席し、資格を取って講義に

通いました。

これも、私自身が健康で、何よりスポーツ好きな事と、家族が時間を与えてくれた事、又、地元の公民館・学校及び競技団体の協力があつたからこそ発揮出来た事と、深く感謝しております。

今後も家族の理解を得、気力体力の許す限り、諸行事に出席し、多くの人との交流を大切に、体育指導委員活動に貢献出来る様、努力致します。



『全国優良団体表彰』を受賞して

白岡町体育指導委員連絡協議会 関山 繁一

平成十八年十一月十六・十七日の二日間にわたり、「第四十七回全国体育指導委員研究協議会」が大分県ピーコンプラザにおいて開催され、開会式に続き表彰式が挙行され白岡町体育指導委員連絡協議会が名誉ある「全国優良団体表彰」を受賞いたしました。

この表彰は、白岡町だけの表彰ではなく県体指協・埼葛体指協をはじめ、白岡町体育指導委員の諸先輩また白岡町職員皆様方のご指導、ご支援を頂いたお陰と心から感謝し、白岡町体育指導委員を代表して御礼申し上げます。

白岡町体育指導委員連絡協議会は昭和四十二年に設立され、現在十五名で活動しております。白岡町体育指導委員の活動モットーは、「先ず自分たちが楽しく、そして自分たちの手で活動」であり、それが原点となつて、町民の皆さん方と楽しさを



<アダプテッドスポーツ>

共々味わっております。私たちの活動は、昨年県体指研究大会でも発表致しましたが、年間計画と六つの事業の事業企画・広報活動(ポスター・町広報・事前準備・事業運営・アンケート・反省会・事業分析・次年度反映と一つの事業を自主的に幅広くそして深く検討し、「町民の健康づくりと仲間づくり」を、一つの事業を通じて楽しく広める事が可能か常に考慮し活動を行っております。

今年度も、健康スポーツ学校という十週に亘る事業を行いました。三年目の事業でクラブ化にこぎつける事が出来ました。また、昨年からアダプテッドスポーツを試行錯誤しながら開催し、大変喜んで頂いております。このように「楽しんで頂いたり」「仲間作りが出来たり」した時、体育指導委員としての役割を痛切に感じております。今後とも皆さん方のご指導・ご支援を頂き更に邁進する所存です。

平成18年度埼玉県体育指導委員功労者表彰受賞者

No.	氏名	性別	市町村名	体指歴	No.	氏名	性別	市町村名	体指歴	No.	氏名	性別	市町村名	体指歴
1	坂本 明女	男	さいたま市	16年	17	西川 慶一	男	伊奈町	18年	33	木元 一明	男	熊谷市	17年
2	島田 洋子	女	さいたま市	16年	18	石堂 悦子	女	川越市	15年	34	ほしな 保科	女	熊谷市	17年
3	川上 節子	女	さいたま市	16年	19	笹井 辰男	男	川越市	13年	35	おおたに 大谷	女	深谷市	13年
4	宮内 潔	男	さいたま市	15年	20	すなが 須永	男	所沢市	17年	36	しみず 清水	男	本庄市	11年
5	泊 和紀	男	川口市	14年	21	かみ島 輝雄	男	所沢市	17年	37	ふくしま 福島	男	神川町	15年
6	関 忠和	男	川口市	16年	22	よしだ 吉田	男	入間市	16年	38	いちかわ 市川	男	加須市	15年
7	古挽 達夫	男	川口市	10年	23	なめかわ 行川	男	富士見市	13年	39	しまむら 島村	男	羽生市	14年
8	佐藤 政義	男	川口市	16年	24	すずき 鈴木	男	ふじみ野市	16年	40	いがらし 五十嵐	女	騎西町	14年
9	長谷川 孝仕	男	草加市	14年	25	はつとり 服部	男	坂戸市	14年	41	しんどう 進藤	男	春日部市	10年
10	藤田 清一	男	草加市	18年	26	やまぐち 山口	男	毛呂山町	14年	42	おおもり 大森	女	鷲宮町	16年
11	高松 俊江	女	蕨市	14年	27	かみほりうち 上堀内	女	三芳町	13年	43	やまもと 山本	男	三郷市	11年
12	沼田 京子	女	朝霞市	12年	28	島田 勇子	女	小川町	16年	44	くらもち 倉持	男	杉戸町	10年
13	内田 恵子	女	新座市	10年	29	ながしま 永島	女	嵐山町	15年	45	くろだ 黒田	男	越谷市	15年
14	山田 実	男	和光市	10年	30	たんの 丹野	男	鳩山町	14年	46	せ た 瀬田	女	吉川市	10年
15	尾田 彰博	男	上尾市	15年	31	はら 原	男	秩父市	16年	47	たなか 田中	男	菖蒲町	15年
16	しみず 清水	女	北本市	11年	32	もてぎ 茂木	男	小鹿野町	17年					

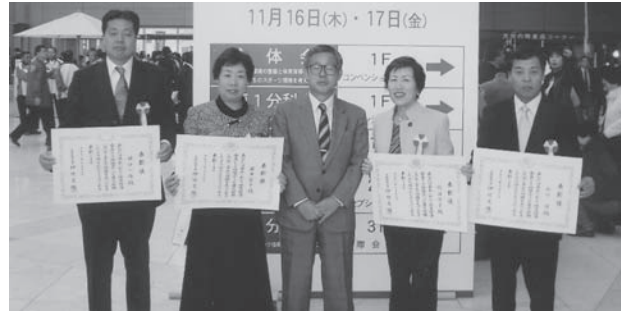


↑関東体育指導委員協議会表彰

氏名	市町村
和田 治	さいたま市
金澤規夫	川口市
水沼桂子	新座市
曾山保男	鴻巣市
河野 孝	越生町
関谷健二	所沢市
新井幸枝	吉見町
加藤明弘	小鹿野町
石井健治	深谷市
川鍋 守	春日部市
本橋幸夫	蓮田市

↓全国体育指導委員連合功労者表彰

氏名	市町村
馬場典成	朝霞市
大沼忠儀	桶川市
豊泉一雄	入間市
内田富三男	ときがわ町
石田徳光	小鹿野町
山越 進	神川町
飯田勝男	松伏町
関原紀子	北川辺町



↑文部科学大臣表彰

氏名	市町村
藤井範子	熊谷市
石川 進	上尾市
樋口一雄	毛呂山町
竹田隆子	本庄市

全国体育指導委員優良団体表彰

白岡町体育指導委員連絡協議会



↓30年勤続体育指導委員表彰

氏名	市町村
岩崎充晃	さいたま市
尾林 静	川口市
橘川忠純	川口市
舘野直行	川口市
神山文男	所沢市
新井博勝	坂戸市
新井幸枝	吉見町
植松勝一	長瀨町
高花和英	幸手市
並木克己	幸手市
倉持良幸	葛蒲町
長谷川博	白岡町
岡田王春	松伏町



平成18年度埼玉県体育指導委員協議会功労者表彰





わがまちの活動



<出前教室活動風景>

蓮田市は、首都四十キロ圏に位置する人口約六万四千人の、農業とベッドタウンを中心に成り立つ市制施行三十四年になる田園都市です。

現在、市の人口は少しずつ減少し、高齢化が進んでおり、医療費の水準も高位置にあります。五年前から体育指導委員二十一名は、広く行政関連部門と連携をとり、高齢化に対応した様々な取組みを活動のなかで実践してまいりました。

まず、平成十二年度から、普及活動中のミニテニスに、健康体操、パドル体操、リズム運動



蓮田市

蓮田市体育指導委員連絡協議会 会長 本橋 幸夫

ウォーキング、マッサージを組み合わせた出前教室を、年間三回行つてまいりました。

そして、二年前からは健康体操系の単独で出前教室を年間五回から六回、市内各所で行つており、益々需要が高まってきました。

課題としては、中高年男性の参加数が少ないという面が挙げられます。

その解消のために、四年前から、成人対象のトレッキング教室を千メートル級程度までの山（鎌倉・御岳・那須岳）で実施したところ、一割から三割程参加数を増やすことができました。

これからも、市民の健康維持・体力増進・維持を目指して各団体と連携し活動していきたいと存じます。



私達が住む「和光市」は、東京都練馬区・板橋区に隣り込んだ、人口七万五千人の小さな市です。発掘された遺跡等により縄文時代の以前から人々の生活が根付いていた形跡が見られるそうです。また地域によつては今でも沢山の湧き水がでて、生活水として使っています。そのような古く小さな市に住む私達体育指導委員は、男性十名、女性四名の十四名で活動しております。

事業計画として、今年度は十六の事業を計画しております。

主な事業は、

- 一、市民体育祭
- 一、市民ハイキング（春・秋各一回）
- 一、健康まつり（体力測定）
- 一、地域子ども教室
- 一、地域子ども教室として、毎週土曜日の午前中に市内小学校の体育館・校庭を使い、「ドッジボール」「キックベースボール」



和光市

和光市体育指導委員連絡協議会 会長 川勝 靖子



<市民体育祭・準備運動>

「レクリエーション」等の指導をしております。これらの募集は、各小学校の協力で、子ども達にチラシを配布し、事務局に参加申込をする形をとっております。

参加者の中には保護者も参加して親子で楽しんだり、他校の子どもどうしとの交流ができ、次回参加の声かけをし合いながら帰る様子も見ることが出来ます。この様子に、指導者もすっかりした指導に取り組んで行こうと、強い気持ちにさせられます。保護者として参加していた人の中には、今では指導者として体育指導委員と一緒に指導に当たる方も増えてきました。

先に主な事業をあげましたが、これらの活動を十四名の体育指導委員で頑張っております。これからも更に資質の向上を目指し、創意工夫し、生涯スポーツの振興に取り組んでまいりたいと思っております。

埼玉県体育指導委員協議会
第一回研修会に参加して

鳩山町体育指導委員協議会 鈴木 千鶴



八月十九日、鴻巣市総合体育館において、埼玉県体育指導委員協議会第一回研修会が約二一〇名の参加のもとに行われました。「キラリ汗・さわやか気分・in鴻巣」のテーマで、鴨んバレー、シニア元気づくり教室、ビーチボールが各々、深谷市、ふじみ野市、越谷市の体育指導委員のご指導での実技研修でした。

鴨んバレーとは、サーブを必ずワンバウンド後にプレーするというルールで、誰でも親しみやすくバレーボールを楽しむことができます。

シニア元気づくり教室では、筋力トレーニングにより、体力、筋力の下降カーブを緩やかにしたり、また、転倒予防を目的としたストレッチなど、楽しく（少し悲鳴をあげながら）実習していました。

ビーチボールは、ボールが柔らかくバドミントンコートで行うため、コントロールが難しく苦心していましたが、要領を覚えると好プレーも見られました。

団塊の世代が退職後スポーツに親しみ健康に過ごせるよう、今回の研修を普及させ、ぜひ地域の体育振興に役立てたいと思います。

ご指導いただいた講師の方々、また、研修委員の方々に心よりお礼申し上げます。研修会を通じ相互の交流がさらに深まることを願っております。

新任体育指導委員協議会に参加して

小鹿野町体育指導委員会 原島 範明



この度体育指導委員に任命され、七月二十二日に行なわれました「埼玉県新任体育指導委員セミナー」に参加いたしました。

講義の中で印象に残ったことは、体育指導委員の本来の役割は、スポーツ振興のために住民に対し実技指導その他スポーツに関する指導や助言を行政と一体となつて行ない、またスポーツを促進する環境づくりをしていくことだと知り、体育指導委員の責任の重さを実感いたしました。また国・県の施策で、スポーツに関する具体的目標が掲げられていることも知り、今後の体指活動の動機付けが変わるきっかけとなりました。中でも体育指導委員の最も重要な役割であると感じたことは、住民にスポーツをする本来の意味を周知し、継続してスポーツに参加する意識の向上と環境づくりをしていくことです。それを実現していくためにも、この研修会で得た知識を多くの住民に広め、スポーツ振興に寄与できるように努力していきたいと思えます。

おわりに、限られた時間の中で貴重な講義をして下さった講師の皆様方に感謝を申し上げます。今回の研修会に参加された新任体育指導委員の皆様方の今後のご活躍をお祈り申し上げます。

平成18年度埼玉県体育指導委員協議会役員

役職	氏名	市町村	役職	氏名	市町村	役職	氏名	市町村	役職	氏名	市町村
顧問	新井博勝	坂戸市	理事	関山 繁一	白岡町	評議員	橋本 秀樹	狭山市	評議員	加藤 稔	横瀬町
会長	宮嶋 武志	春日部市	理事	鷲内 郁夫	栗橋町	評議員	田辺 芳雄	飯能市	評議員	江木 克己	八潮市
副会長	石川 進	上尾市	理事	正倉 勝治	久喜市	評議員	南波 保	富士見市	評議員	梶原 武士	三郷市
副会長	石川 栄治	深谷市	理事	松島 良一	大利根町	評議員	木下 伸明	坂戸市	評議員	本橋 幸夫	蓮田市
副会長	浪江 好治	さいたま市	理事	高橋むつみ	蓮田市	評議員	駒井 淳一	日高市	評議員	金子 和彦	幸手市
副会長	新井 威夫	鶴ヶ島市	理事	大塚 光武	鴻巣市	評議員	利根川 常彦	越生町	評議員	鈴木 三四郎	吉川市
事務局長	石川 進	上尾市	評議員	井藤 保	さいたま市	評議員	吉野 浩之	三芳町	評議員	平川 長二	菖蒲町
理事	飯島 稔	さいたま市	評議員	渡辺 一成	さいたま市	評議員	吉田 文夫	東松山市	評議員	杉山 康昌	宮代町
理事	山野 辺範一	新座市	評議員	藤代 義臣	さいたま市	評議員	篠崎 英明	滑川町	評議員	神谷 憲	鷲宮町
理事	尾林 静	川口市	評議員	神山 敏男	川口市	評議員	大澤 久保	嵐山町	評議員	矢島 祥三	杉戸町
理事	加藤 弘	桶川市	評議員	坂田 政司	草加市	評議員	鈴木 千鶴	鳩山町	評議員	飯田 勝男	松伏町
理事	豊泉 一雄	入間市	評議員	加山 雅昭	蕨市	評議員	富田 矩夫	東秩父村	評議員	川嶋 二郎	行田市
理事	樋口 一雄	毛呂山町	評議員	須田 真司	戸田市	評議員	新井 幸枝	吉見町	評議員	岸 時雄	羽生市
理事	須賀 憲	川越市	評議員	加藤 修	鳩ヶ谷市	評議員	阿部 洋行	川島町	評議員	佐藤 公治	騎西町
理事	佐藤 茂	ふじみ野市	評議員	三井田 章	朝霞市	評議員	黒澤 保雄	寄居町	評議員	小林 郁夫	北川辺町
理事	宮澤 幹雄	小川町	評議員	佐々木 真人	和光市	評議員	笠原 猛	江南町	会計	井藤 保	さいたま市
理事	杉田 清	ときがわ町	評議員	曾山 保男	鴻巣市	評議員	橋爪 信明	上里町	会計	大熊 一郎	加須市
理事	藤井 範子	熊谷市	評議員	宮澤 通雄	北本市	評議員	徳世 忠司	美里町	監事	藤井 範子	熊谷市
理事	小池 克三郎	秩父市	評議員	西川 慶一	伊奈町	評議員	岩上 孝夫	皆野町	監事	芹澤 まき子	川越市
理事	竹田 隆子	本庄市	評議員	山田 上	川越市	評議員	山越 進	神川町	監事	鷲内 郁夫	栗橋町
理事	大熊 一郎	加須市	評議員	針ヶ谷 秀夫	所沢市	評議員	出浦 勲	小鹿野町	幹事	徳世 忠司	美里町
理事	池ノ谷 一郎	越谷市	評議員	若山 芳男	所沢市	評議員	林 美佐男	長瀨町	幹事	西川 慶一	伊奈町

平成18年度 埼玉県体育指導委員協議会20年勤続表彰受賞者

氏名	36 森田健一	新座市 3	100 中村龍太郎	136 半田光秋	165 志村政男	上里町 3	吉川市 1
さいたま市 27	37 藤原敏彦	70 山野辺範一	101 針ヶ谷秀夫	137 三宅雅生	166 志塚仁志	194 橋爪信明	226 伊田眞一
1 新井正明	38 沖田徳男	71 阿部優子	102 田巻秀雄	坂戸市 3	東秩父村 1	195 佐藤ミネ子	葛蒲町 3
2 和田治	39 神山敏男	72 水沼佳子	103 神山文男	138 新井博勝	167 富田矩夫	196 横村久夫	227 平川長二
3 田中孝一	40 池住朋子	和光市 4	104 新倉昭一	139 木下伸明	秩父市 2	神川町 4	228 馬場一義
4 斉藤義雄	41 中山義夫	73 川勝靖子	105 小沢典雄	140 貫川正子	168 新船泰男	197 山越進	229 倉持良幸
5 渡辺一成	42 会沢次夫	74 中村治夫	106 千葉武	鶴ヶ島市 2	169 新井達美	198 星野勇	栗橋町 2
6 中村登	43 小柳千秋	75 松原延子	107 秋山正恒	141 新井威夫	小鹿野町 5	199 木村葉子	230 鷺内郁夫
7 岩崎充晃	44 榊原秀忠	76 石堂則子	108 野村和義	142 関口浩明	170 浅賀淳男	200 浅見昇	231 景山悦夫
8 工藤直子	45 東久雪	鴻巣市 7	109 小山亨	毛呂山町 5	171 石田徳光	春日部市 14	鷲宮町 3
9 加藤秀子	46 尾林静	77 伊藤精二	110 関谷健二	143 関清隆	172 加藤明弘	201 樺田正俊	232 神谷憲
10 井山和夫	47 村上栄一	78 金子喜一	111 三上義博	144 青木国衛	173 出浦勲	202 宮嶋武志	233 中山勝紀
11 配島宣夫	48 酒居昭雄	79 曾山保男	112 小林照美	145 清水和男	174 前野久男	203 松本妙子	234 亀田章一
12 白川良子	草加市 11	80 大島昌子	113 萩原晴治	146 樋口一雄	皆野町 1	204 茂木勝子	杉戸町 6
13 武笠辰彦	49 荒川静子	81 飯山光政	狭山市 14	147 加藤よし子	175 浅見寿太郎	205 原郁子	235 矢島祥三
14 新田哲也	50 荒島まさ子	82 宮田文子	114 多加谷一夫	三芳町 4	横瀬町 1	206 福山逸子	236 大越正美
15 森泉隆	51 安藤誠	83 横尾隆	115 久保田定	148 箕輪光一	176 加藤稔	207 荒井秀雄	237 小原孝
16 北川久	52 大関武	84 上尾市 1	116 中井義浩	149 上島三介	熊谷市 5	208 原洋子	238 高野満亀子
17 長島昭	53 鎌田敏子	84 石川進	117 松山博明	150 小林光雄	177 高橋正美	209 斉藤清治	239 大野木実
18 住谷勇	54 川上政次	84 桶川市 5	118 橋本正之	151 仲村文雄	178 桜間雄蔵	210 野村幸男	240 古川渥美
19 星野弘	55 近藤政子	85 加藤弘	119 坂村美恵子	152 東松山市 3	179 藤井範子	211 秋元昌夫	加須市 3
20 内田阿久蔵	56 坂田政司	86 大沼忠儀	120 小室久美子	152 吉田文夫	180 吉田隆一	212 遠藤久子	241 大熊一郎
21 畔川清和	57 島田日出夫	87 竹本静子	121 山崎義孝	153 島野軍司	181 富田栄	213 古厩たけ子	242 秋山宮男
22 渡辺俊子	58 服部秀明	88 飯田恭人	122 星恒夫	154 奥泉洋子	深谷市 6	214 川鍋守	243 鈴木輝男
23 石原利夫	59 古市美智子	89 浅越治子	123 栗原政敏	小川町 5	182 石井建治	越谷市 6	羽生市 1
24 磯崎久子	蕨市 3	90 内村栄	124 笠原昇	155 恩田達司	183 石川栄治	215 池ノ谷一郎	244 野口啓子
25 芝崎博司	60 前田雅義	91 内田晶子	125 栗原梅次	156 千野秀夫	184 渋谷朝雄	216 山崎忠則	北川辺町 1
26 橋本弘	61 片寄富久	92 遠藤スミ	126 小澤久美子	157 宮澤幹雄	185 茂木一郎	217 坂巻誠一	245 関原紀子
27 林美己	62 高田勝彦	川越市 7	127 矢萩照子	158 新井正子	186 篠崎弘吉	218 山本幸子	白岡町 3
川口市 21	鳩ヶ谷市 3	93 須賀憲	128 佐々木清純	159 持田孝子	187 竹澤歳夫	219 松永具子	246 長谷川博
28 押田達雄	63 千田れい子	94 柴正次	129 入江静代	嵐山町 2	寄居町 1	220 鈴木章	247 関山繁一
29 橋川忠純	64 中浦忠孝	95 遠藤康二	130 芦野敏明	160 中嶋秀雄	新井道子	久喜市 4	248 伊与泉雅男
30 池田捷一	65 平野紀男	96 広瀬正夫	131 佐藤茂	161 大澤久保	本庄市 5	221 正倉勝治	大利根町 1
31 笹岡雅弘	朝霞市 4	97 唐木秀男	132 堀木豪	吉見町 1	189 新井光夫	222 朝武紀雄	249 松島良一
32 金澤規夫	66 塩野知子	98 川畑松雄	133 水野栄江	162 新井幸枝	190 丸橋廣策	223 増川邦子	長瀬町 1
33 黒岩国夫	67 三井田章	99 内田博謙	134 増淵政雄	滑川町 4	191 山口章	224 今井啓己	250 植松勝一
34 舘野直行	68 箕輪良子	所沢市 14	135 矢島道子	163 篠崎英明	192 竹田隆子	蓮田市 1	
35 奥村美津子	69 下田節子			164 岩澤通雄	193 茂木利夫	225 本橋幸夫	

平成19年度 埼玉県体育指導委員協議会事業計画（予定）

期日(曜)	事業名	会場
5月26日(土)	評議員会・表彰式	県立スポーツ研修センター
6月8日(金)・9日(土)	関東体育指導委員研究大会	山梨県甲府市(小瀬スポーツ公園)
7月21日(土)	第1回新任体育指導委員セミナー	県立スポーツ研修センター
8月18日(土)	第1回研修会	未定
11月8日(木)・9日(金)	第48回全国体育指導委員研究協議会	新潟県新潟市
平成20年 2月 2日(土)	第2回新任体育指導委員セミナー	県立スポーツ研修センター

発行にあたり、ご協力下さった皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

編集後記



広報委員会

2007年 体指手帳
定価800円(税込)送料別

お申し込み・問合せ先
埼玉県体育指導委員協議会事務局
TEL 048-779-7537
FAX 048-779-7538

(社)全国体育指導委員連合機関誌
みんなのスポーツ

毎月、地域スポーツ振興のための諸問題の特集
全国の体指の実践事例、生涯スポーツ情報満載

年間購読料 5,200円(1冊440円/B5判・48頁)

◎お申し込み・問合せは、市町村体指事務局、又は
日本体育社(TEL/FAX) 03-3811-8911(6290)まで